

セントジョージ市との 交流事業を行いました

■セントジョージ市からの派遣団

11月9日(水)から11月14日(月)の6日間、アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市から派遣団が来日しました。来日したのはセントジョージマラソンの成績優秀ランナーや地元の中学生などです。

招待ランナーとしてハーフマラソンに出場した4人はいずれも入賞しました。

揖斐川町滞在中は、町内のホームステイ先のお宅で日本文化に触れ、日本の生活を満喫しました。また、中学生らは、揖斐川中学校や北和中学校を訪れて、生徒同士交流を深めていました。派遣団の皆さんは、揖斐川町の自然や人柄の良さに感動して帰国しました。



▲ハーフマラソンで優勝したライリーさん(右端)

■揖斐川町から

セントジョージ市への派遣報告書

9月28日(水)から10月5日(水)の8日間、昨年のいびがわマラソンで優秀な成績を修めたランナーの皆さんがマラソン交流事業のため派遣団としてセントジョージ市に滞在し、セントジョージマラソンに出場しました。

セントジョージ市はアメリカの西部に位置し、赤い岩でできた広大な大地が広がっています。ランナーの皆さんはいびがわマラソンとはまた違った自然を楽しみながら、全員完走しました。出場ランナーの皆さんから報告書の一部を紹介します。(全文は町ホームページに掲載)

いびがわマラソン2015

総合男子優秀ランナー 鈴木聖夫さん

ホストファミリーとは、お互いがアスリートであるという共通点から日々のトレーニングのことや、セントジョージマラソンのコースの特徴、攻略法などを通じてコミュニケーションをとっていきました。

セントジョージマラソンは日本にはないハードなコースで、私は30kmで力尽きてしまい、完走するだけで精一杯でした。悔いの残る結果でしたのでリベンジしようと考えています。またいびがわマラソンと同様に、エイドステーションには多くの方々がボランティアとして声援とサポートをくださり、完走を助けてくれました。

いびがわマラソン2015

総合女子優秀ランナー 田村あすみさん

私は今回2回目のセントジョージ派遣でした。

そのため、コースもある程度分かっているつもりでしたが、実際また走ると、下りの激しい厳しいコースでした。

ハーフ地点直前で足に違和感を感じ、一度立ち止まってしまいました。が、せっかくここまで来たんだから最後まで諦めずに走ろうと思い走りだしました。

後半は、広大な景色と沿道の声援がどんどん気持ち盛り上げ、足を前へと進めてくれて、気持ちを切らずゴールにたどり着くことができました。

結果は目標の3時間はきれませんでした。ですがそれ以上にとっても良い経験、得たものが大きく、前回とはまた違ったものを感じたレースになりました。



▲派遣ランナーの皆さん(前列)

いびがわマラソン2015

町内男子優秀ランナー 藤原慶和さん

マラソン当日は、スタート20分前に到着し、あまりウォーミングアップができず、高低差800m、アップダウンの多いコースで心配がありました。

しかし、走り始めると観衆の応援、共に走るランナーの励まし、壮大な景色に気分が高まり、心配を忘れてしまいう程、楽しく走ることが出来ました。

ゴール後には、派遣団とホストファミリーの祝福を受け、完走した喜びを改めて感じました。

セントジョージは、本当に自然豊かで、とても景色が綺麗な街でした。そんな素敵な場所で、マラソンをすることができ、とても良い経験となりました。

いびがわマラソン2015

町内女子優秀ランナー 澤野麻美さん

スタート地点に向かうバスの中では不安な気持ちでいっぱいでしたが、バスを降りてみると大きな音でアップテンポな音楽が流れ、お祭りの様な雰囲気に緊張も一気に無くなりました。

コースは広大な絶景が続く一本道。沿道ではいびがわマラソンと同じくらい、熱心に応援して下さる現地の方々。更に自己ベストも更新し忘れられない思い出になりました。

ホームステイ先ではスナイダー夫妻にお世話になりました。スナイダー夫妻はとても愉快な方たちで、単語やジェスチャーを使って冗談などを言いながら、いつも笑って過ごせました。



▲たくさんの人で賑わったステージイベント

いびがわ産業 フェスティバル大盛況！

町内の美味しい農産物や、魅力あふれる商品やサービスを紹介するいびがわ産業フェスティバルが11月19日（土）、20日（日）と地域交流センター「はなもも」J A いび川本店前の駐車場で開催されました。

この催しは、町、J A いび川、商工会、揖斐郡森林組合が連携して主催し、関係の事業所や飲食店、揖斐高ショッブなど42団体が、展示即売、軽食などのブースを出展しました。

おにぎり、豚汁の無料配布には、長い列ができ、会場が大勢の人で埋め尽くされるほどの盛況ぶりでした。

屋外特設ステージでは、子どもに大人気の「動物戦隊ジュウオウジャー」ショーなどが行われ、来場者は、足を止めて見入っていました。

もろこし村秋の収穫祭



▲力を合わせてサツマイモを掘る参加者ら

10月29日（土）、揖斐川町胫永地区の親子ふれあい農園もろこし村で恒例の秋の収穫祭が行われました。

もろこし村では、一口オーナーになればサツマイモやトウモロコシの収穫が体験できます。

当日は、さわやかな秋晴れで、もろこし村のオーナーである町内外の親子約400人がサツマイモ堀りを楽しみました。

今回収穫されたサツマイモは、もろこし村を管理する地元の農家の皆さんが丹精こめて栽培したもので、収穫を終えた参加者は、もろこし村の役員の人が用意した新米おにぎりやきな粉餅を振る舞われ、秋のひと時を楽しみました。

岐阜県原子力防災訓練

11月27日（日）、福井県の実原発の事故を想定した県の原子力防災訓練が坂内地域の住民を対象として実施されました。

今回で5回目となるこの訓練は、原子力災害発生時の初動体制の確認と国・県・揖斐川町・関係機関の連携体制の強化を目的として行われ、町民や関係機関など約700人が参加しました。

今年はUPZ（原発から半径30キロ圏）にかかる川上地区に加え、坂内全地域の住民避難を想定し、従来のバスや自衛隊車両に加え、避難指示のあった場合の原則である自家用車での避難も行われました。

避難先の健康広場では、車両用ゲート型モニターを使った検査や、放射線の有無を調べる検査などが実施されました。



▲放射線を拭き取る簡易除染訓練

秋の城台山公園と 揖斐川の町並みウォーキング



▲城台山公園揖斐城跡付近を見学

11月23日（水・祝）、秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキングが行われ、約380人が参加しました。

この催しは、揖斐川の自然や歴史スポット、町並みを巡り、町の魅力を再発見してもらうことを目的として行われています。

ウォーキングウェアやリュックなどに身を包んだ参加者は、揖斐川町役場から出発し、全長約7キロメートル、所要時間2時間30分のコースを楽しみました。

この日はさわやかな秋晴れで、参加者は城台山公園の紅葉や、歴史ある揖斐の町並みを散策しました。

コース上には、豚汁・甘酒のサービスもあり、参加者は秋の揖斐川を満喫していました。